

新作縄文法曾陶展

地より来て地に還るもの

会期 2020年6月2日(火)～8月30日(日)



地より来て地に還るもの
(村上原野作)2019年

大地に渦巻くマグマのようなエネルギー、大地から生まれ来る生命の胎動が、緻密で重層的な文様になって表出する縄文造形。大地そのもののような縄文造形が、古陶・法曾焼と出会い融合した「縄文法曾陶」。法曾焼は2007年150年ぶりに猪風来と法曾焼同好会により復興され、以来地元の法曾粘土を用いて穴窯で焼き上げた作品は、この大地のもつ土味の重厚な深みと釉薬の技に、縄文造形のもつ文様美と躍動感が加わり新法曾焼となる。タイトルにもなった村上原野作品「地より来て地に還るもの」は生死再生をテーマに縄文造形の究極の美と、生命と魂の輝き、鎮魂・再生への祈りに満ちあふれた渾身の力作。新しい芸術表現として人々を魅了する「縄文法曾陶」の世界をどうぞご高覧ください。



〒719-2552 岡山県新見市法曾609
TEL・FAX 0867-75-2444
<http://www.ifurai.jp/>

縄文野焼き技法の第一人者であり、縄文アートの創始者として知られる作家・猪風来(いふうらい)。猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)は縄文野焼き作品、法曾焼、絵画など独自の縄文スパイラル造形による作品二百数十点を常設展示しております。

【開館時間】 午前9:30～午後5:00
【休館日】 月曜(祝日は開館)
【観覧料】 一般400円/高校生200円
【アクセス】 岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分